

# 新年のごあいさつ

登別市議会議長

いし やま まさ し  
石 山 正 志



新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、明るく希望に満ちた新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

旧年中は、議会活動におきまして、特段のご理解とご協力を賜り厚く感謝を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、異常気象による風水害や地震などの自然災害の発生、民族間紛争やテロなどにより、数多くの尊い人命が奪われた一年でありました。

また、国内では、好景気の中にあっても、北海道など地方経済への波及効果は小さく、いわゆる地域間格差が顕著になりつつあります。加えて夕張市の財政破綻に象徴されるように、地方自治体を取り巻く財政環境が、一層厳しさを増しており、登別市においても財政問題をより深刻に受け止め、財政健全化の対応に取り組んでいます。

一方、議会では昨年、すでに決定していた『定例会の回数減』『議員定数の削減』を実行に移し、合わせてあらゆる議会経費の節減も行いました。

また、昨年初めて『議会フォーラム』を3地区で開催し、200人を超える多くの市民の参加をいただき、貴重なご意見やご提言を拝聴しました。

わたしどもはこれを真摯に受け止めるとともに、初回の議会フォーラムの反省点や改善点を今年のフォーラムに生かすよう対応してまいります。

活動面では、常任委員会のさらなる活性化に向け、年間活動計画書の作成に基づき、委員会における『議員同士の自由討議』『市民との意見交換』の実施など、これまで以上に積極的な改革に取り組み、負託に応える体制づくりを展開中です。

また、新たな改革に向けた案件も検討中であり、今後市民の皆さまにもその内容について情報提供し、ご意見をいただきたいと考えております。

今年の干支『子』は『孳』（「ふえる」の意味）で、新しい生命が種子の中に萌し始める状態を表すそうです。新しい挑戦の種をまき、市民の皆さまとともに議論の肥しでそれを成長させ、そこから良い結果を出したいと思えます。今後とも地方分権時代にふさわしい議会、市民と協働する議会、皆さまから信頼される議会を目指しますので、ご指導・ご協力をお願いいたします。

結びに、この一年が市民の皆さまにとりまして、より良い年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。